

腹腔鏡下肝切除術の治療成績に関する多施設共同研究に参加しています

本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。

【当センターにおける相談窓口】

研究責任者：消化器外科医長

松下 貴和

連絡先：〒670-8520 姫路市本町 68 番地

電話：079-225-3211（病院代表）

◆研究の意義・目的

肝切除は従来開腹で行ってきましたが、近年の腹腔鏡下肝切除の導入および保険適応拡大により、症例数は増加の一途をたどっています。腹腔鏡下肝切除術の難易度の指標として 2014 年に本邦から”Difficulty score”「難易度スコア」が発信され、本研究の一環として多施設共同研究で、その検証を行い、難易度スコアが術中、術後成績に相関することを報告しました（J Am Coll Surg 2017;225: 249-258）。しかし、この難易度スコアでは不足している項目があり、それを補足する目的で 2017 年 IWATE criteria が提唱されました。また海外からも Gayet’ s (difficulty) classification が提唱されました。多施設共同研究によってこれらの新しい難易度スコアの検証を含めた臨床病理学的因子や術中因子から術後治療成績を検討し、腹腔鏡下肝切除術のさらなる安全性の向上を目指す研究です。

◆研究期間：承認後～2019 年 12 月 31 日

◆2010 年から 2014 年の期間に当センターで腹腔鏡下肝切除術が施行なされ経過観察されている患者様

◆利用又は提供する試料・情報の項目

診療記録（背景、年齢、性別、肝腫瘍の種類、術式、手術時間、出血量、術後合併症、在院死の症例では死因）

◆利用者の範囲

自施設のみ（研究は全国 74 施設で行われます）

◆試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

大阪市立大学医学部附属病院 肝胆膵外科 久保正二